

名 称		平成 21 年度 第 2 回 ほどがや市民活動センター評議会 議事録
日 時		平成 22 年 3 月 18 日 (木) 18:00~20:00
場 所		ほどがや市民活動センター(アワーズ)ミーティングスペース
出席者	評議会委員	福田 幸男 委員【議長】(横浜国立大学教育人間科学部 教授) 小倉 敬子 委員【副議長】((財)かわさき市民活動センター 理事長) 浅井 経子 委員 (八洲学園大学生涯学習部人間教育開発課程 教授) 佐藤 義浩 委員 ((社)横浜青年会議所 理事) 京 利幸 委員 (神奈川県公民館連絡協議会 会長)
	保土ヶ谷区役所	同青少年・文化・スポーツ係長 畠山 重徳 同青少年・文化・スポーツ係 橋本 幸枝 同青少年・文化・スポーツ係 永田 恵
	協働運営会議	代表 内山 啓次郎
	管理運営業務 受託者 アクティオ(株)	東日本事業部営業部長 佐熊 邦弘 ほどがや市民活動センター センター長 吉弘 初枝 同 スタッフ 姉川 圭一 同 スタッフ 阿野 秀一郎 同 スタッフ 中津留憲一
欠席委員		鈴木 方規 委員

議 題	(1) 平成 21 年度ほどがや市民活動センターの運営及び業務について ① 利用状況並びに企画事業等について ② 「ほどがや・街の学習応援隊」事業について (2) ほどがや市民活動センター協働運営会議から
資 料	1. ほどがや市民活動センター評議会委員名簿 (資料 1) 2. ほどがや市民活動センター平成 21 年度事業実施状況 (資料 2) 3. 平成 21 年度利用状況概要 (資料 2-1) 4. 下期事業実施状況 含む事業チラシ (資料 2-2) 5. 「ほどがや・街の学習応援隊」平成 21 年度事業利用状況 (資料 3) 6. ほどがや市民活動センター協働運営会議 第 3 回総会議事録 (資料 4) 7. ほどがや市民活動センター協働運営会議会則

◎評議会開催の挨拶に続き、平成 21 年度第 1 回・第 2 回をはじめ今後の評議会議事録をアワーズのホームページで報告したいとの提案があり、全委員の了解を得た。

議題（１）平成 21 年度ほ도가や市民活動センターの運営及び業務について

① 利用状況並びに企画事業等について

資料 1 に基づき、今年度実施の事業全般について報告。成果と課題を中心に説明する。

- ・来館者は件数・人数ともに昨年比 20%程度増加している。特にミーティングスペースの増加が大幅に増えている。機材利用も増え、作業コーナーでは町内会・自治会の利用も多い。
- ・相談の内容についてはNPO等から安定した運営に関して（資金調達など）の相談も増えてきている。対応できるよう各種情報収集の為アンテナをはり、対応していきたい。
- ・アワーズのホームページを利用した団体等の講座・イベントのPRは昨年比 200%と大幅に上回った。
- ・今年度初めて利用者交流会「しゃべろうかい」を協働運営会議と連携し実施。顔を合わせて話し合う中で相互のコミュニケーションがとれ、今後も良きパートナーとして期待したい。
- ・区内の生涯学習グループが集う「生涯学習フォーラム まなぶん祭り」が 12 月 5 日（土）・6 日（日）の 2 日間にアワーズを会場に開催された。アワーズとしても会場提供だけではなく、まなぶん祭り実行委員会と協力して会場を盛り上げ、その結果、多くの来場者を得ることができ、これまでアワーズを知らなかった区民にアワーズを知っていただくことができた。

【利用状況について】

- ・利用者は保土ヶ谷区の人口の 10%も満たしていない。せめて 30%に近い利用率に近づきたい。
- ・地形的に保土ヶ谷に山が多いとすれば山を越えてまで来ないので日常的な利用は限られた地域の人と考える。そのような場所には地区センターがあれば良いし地区センターとの連携が大事なことと思う。
- ・出前講座を「応援隊」だけでなく、主催事業も行ってはどうか？アワーズのアピールにもなる。
- ・例えば機材貸出で利用率の高いプロジェクターなどについて、より充実させるなどの工夫があっても良い。

【まなぶん祭りについて】

- ・アワーズを会場として開催しているが、土曜日はそれに合わせて夜の事業を開催する。また会場をアワーズだけでなく広い場所で実施する等を考えるのも一つと思う。
（区役所）区民からなる実行委員会が企画・運営しているため、図らなければいけない。次年度は 10 周年の節目に当たるので会場についても検討し、実行委員も福祉関係団体が入るので幅広い分野での参加が期待できます。
- ・区内各所に区民利用施設があり、其々に主催事業やセンター祭りを実施しているが「まなぶん祭り」が区の事業であるなら、区全体を網羅できるように各施設等と連携した方が区民へのPRになるのでは。
- ・区の事業であるなら、会場は持ち回りがよい。そうしないと区民利用施設自体が変わらない。ここでは「アワーズ祭り」をすれば良い。

【相談・コーディネートについて】

- ・助成金を含めて資金調達の相談が増えているようだが、助成金を獲得する講座などをする必要があるのでは。団体の体力に応じたものや横浜市内の助成金情報、申請書の書き方、実際に助成金を獲得した団体の体験談などを織り交ぜた内容と、助成金に頼らない本当の意味での自立は何かなどの自立支援講座を次年度企画してみたいか。
- ・横浜市内の助成金・補助金一覧を作成してホームページに載せることも検討して欲しい。

委員からの意見・質問

② ほ도가や・街の学習応援隊 について

資料 3 に基づき、事業内容を説明、報告する。

- ・相談された時、日程が合わないことでの不成立はあるが、他の一手に結び付ける努力をし、成果もあがっている。
- ・依頼のない登録者のモチベーションを支えていきたい。

委員からの意見・質問	<ul style="list-style-type: none"> ・「春の体験講座」などを行った結果、施設などからの依頼につながったのが数件ある。登録者が手を挙げたことで繋がった実績をPRしてみてもどうか？ ・ふらっとサロンのあり方を考えた方が良い。やることよりも何が求められているかを考える。 ・登録者のスキルレベルを高めるための場を作る必要がある。「依頼を自分たちの為に」と位置付けた方が良い。地域のニーズに応えれば依頼は増える。 ・アワーズで応援隊の活動内容やスキルを把握する必要がある。お茶やお華などは狭い場所でも一度に紹介できるので、体験講座をしてもらうと力量が見え、感触が分かる。その結果紹介する時に力も入る。
------------	---

議題(2) ほ도가や市民活動センター 協働運営会議から	
<p>【会則の変更】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会則の主な変更箇所を資料4に基づき説明 <p>【利用者交流会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3月13日に実施、約40人の参加があり非常に好評であった。 ・参加者を協働運営会議に是非参加して欲しいと考えている。 	
見ら委員の質意か	<ul style="list-style-type: none"> ・今回会則を変えたことや募集方法が従来と変わったことなど、利用している団体などへ知って貰って欲しい。

その他意見交換	
<p>【ホームページに関して】</p> <p>(質問) ホームページのアクセス数が減っているのは？</p> <p>(回答) 月平均約6,000件、固定客はつかんだと感じているし、安定状態でないかと思います。更新の頻度は「講座・事業」についてはほぼ、毎日更新し「お知らせは直ぐに！」に努めている。</p> <p>(質問) トップページは変わっていないようだが？</p> <p>(回答) 基本的な変更はないが、内部ツールは改良し分かりやすい使いやすいホームページになるよう変更に着手している。</p> <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修・講習会へ積極的に参加し、これを活用するのは良いことだ。 ・21年度2回目の報告でしたが、新しい試みが定着し受け入れられていることは心強い。成果が直ぐに出ないというもどかしさはあるが、活動の質と広がり期待したい。 	